

## 【担当課：副首都推進局】

議 題	大阪の副首都化について
日 時	平成 29 年 3 月 30 日(木) 13 時 00 分 ~ 14 時 20 分
場 所	大阪市役所 5 階 会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与) 出口特別参与 (職員等) 副首都推進局副首都企画推進担当部長、企画担当課長 大阪府政策企画部企画室計画課課長補佐 等
論 点	民都（フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化）の今後の取組み方向について
主 な 意 見	<p>大阪におけるフィランソロピーの活性化など民都に向けた検討を始めた背景として、ザッカーバーグ氏の寄附など世界中でフィランソロピーの動きが活発化しており、第 2 のゴールデンエイジと言われる状況になっていることがある。</p> <p>日本でもソフトバンクの孫氏やユニクロの柳井氏が財団を立ち上げるなど、東京では動きが盛り上がり、我々もスピード感を持って検討を進めないと時機を逸してしまう。</p> <p>今後、(仮称)大阪フィランソロピー会議の立ち上げに向けた検討に加わる人が増えれば、いろんな意見が出てくると思うが、その合意形成も含めてスピード感を持って進める必要がある。</p> <p>また、検討に直接加わっていない多くの関係者の意見にも配慮する必要がある。</p> <p>民間の意見を聞くことは各種審議会において広く行われている。サードセクターから委員として参画されている方々にどのような方がおられるのかも参考にしてみたい。</p>
結 論	ご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。
資 料	(仮称)大阪フィランソロピー会議の検討(議論用ペーパー)
関係所属	